

【Goal MX/Showa BLLリテーナリング微調整の方法】

鍵を抜き差しする際、シリンダーがカタ付く場合（数ミリ出たり入ったりする場合）リテーナリングを回しながらノッチを合わせる必要があります。

①部品を外すと、下のようになっています。シリンダーの入り口は突起が少し斜めにカットされています。リテーナリングは金色の内側がギザギザになっている部品です



②テールピースは切り欠きが右側になり水平になるようにセットします。順番は、テールピース→シルバーのパーツ→リテーナリングの順にセットします。



③金色のピンを上からピンセットで押さえながら、リテーナリング（金色内側ギザ）を時計方向に止まるまで回してください。まずはこれ以上締まらないという所まで締める。

④カギの抜き差し回転を試し、**回転が重い場合**

締めた時と同じように金色のピンをピンセットで押さえながら

リテーナリングを反時計方向にギザギザを1つ動かし、ゆるめて下さい。

一般論ですが、**最大限リングを締めた位置から1つゆるめた所がリングの適正な締め位置になります**

※リテーナリングは、“半時計方向に回すとゆるまり”、“時計方向に回すとしまります”

内側のギザギザの刻みを1つずつ移動するような方法で調整していきます。

